



赤羽馬鹿祭りに参加



自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 白岩一陸尉）は4月28日、北区JR赤羽駅周辺で開催された「第66回赤羽馬鹿祭り」に広報活動の一環として参加した。第1回開催日だった1956年4月1日の「エープリルフル」にちなんで名付けられた赤羽馬鹿祭りは、北区最大級のイベントで、20〜30万人が訪れる人気の祭りだが、コロナ禍での休止、規模縮小を経て、今年は5年ぶりの本格開催となった。音楽パレードや馬鹿踊りパレード、江戸みこしパレードが開催される他、赤羽公園会場と赤羽駅東口特設会場に模擬店なども出店する、赤羽の街伝統の祭りである。

当日は、前日までの悪天候の予報から一転、初夏を思わせる日差しが照りつける中、北地域事務所は、セレモニー参加に続いてパレード参加者や多くの協力者とともに赤羽小学校を華々しく出発し、テーマ曲の「馬鹿ロック」に合わせて陸・海・空自衛隊の広報官が迷彩服と制服姿で赤羽駅周辺を踊り歩いた。本部長 横田陸将補も激励に駆けつけ、駅前通りの沿道を埋め尽くす観客らとともに多くの拍手と声援を送った。

参加者や来場者から気軽に話しかけられる場も多くあり、地域の方々と広報官が触れ合い、自衛官という「職業」を感じてもらいたいきっかけとなった。自衛隊の姿を多くの観客の目に焼き付けてパレードは無事終了した。

北地域事務所は、引き続き地域イベント参加を通じて募集及び広報業務を推進していくとしている。

府中駅構内において市街地広報を実施

自衛隊東京地方協力本部府中分駐所（所長 近藤一陸尉）は5月23日、京王線府中駅構内において、幅広い年齢層を対象とした自衛官募集及び広報活動を実施した。

本市街地広報では、募集広報アンケートに答えて頂いた方に対してガラポン抽選会にチャレンジしていただき、募集広報グッズ等をプレゼントするイベントを実施した。景品は1等から5等そして特賞があり、特賞については「自衛隊ヘリコプター体験搭乗招待券」又は「自衛隊音楽コンサート招待券」という目玉景品を準備した。

学校帰りの大学生を始め、地元の高校生や社会人まで、多くの方々にアンケートへのご協力を頂き、非売品の自衛隊募集広報グッズを手にした来場者は笑顔が浮かべていた。惜しくも特賞の当選はなかったが、1等の航空自衛隊手帳が当選した女子大学生は「自衛隊の手帳始めてみました。友達に自衛隊好きな子いるので自慢します。」と珍しい景品に喜々とした様子で話していた。

府中分駐所では、今後も地域に密着した募集・広報活動を積極的に実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げている。

